



# 第27回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和2年10月17日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会  
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室  
地域医療支援センター  
シミュレーションセンター  
救命救急センター

# 第 27 回 I C L S コース

## コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

## I C L S とは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

## 実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医(内、2名は2年次)であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター4名、アシスタント3名)計9名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

# 各ブースにおける感染予防対策



## 1. BLSブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

#### (1) マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面



#### (2) BVM

#### (3) AED

### 4) その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



## 2. 気道管理ブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計



### 4) その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。

## 3. モニターブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

## 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



## 4. シナリオブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) BVM

### (3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

### (4) 輸液・薬剤

### (5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



# タイムテーブル

## 〈実施内容〉

開催日時	令和2年10月17日（土） 9：20～17：00
受講者数	12名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

## 〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的室	
09:30～10:20	50分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:20～10:30	10分	休憩・移動		
10:30～11:20	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:20～11:30	10分	休憩・移動		
11:30～12:20	50分	気道管理/モニター	モニター シミュレーション室2	気道管理 シミュレーション室1
12:20～13:10	50分	昼食	多目的室	
13:10～13:15	5分	デモンストレーション	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室2	
13:15～14:25	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:25～14:35	10分	休憩・移動		
14:35～15:20	45分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:35	15分	休憩		
15:35～16:35	60分	メガコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:35～16:45	10分	移動		
16:45～17:00	15分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的室	

### 午前：気道管理

インストラクター：★柴田 崎村 百木  
アシスタント：白髭

### 午前：モニター

インストラクター：★北山 前田  
アシスタント：井上 貞松

### 午後

シミュ1  
★柴田 崎村 百木 白髭

シミュ3  
★北山 井上 貞松

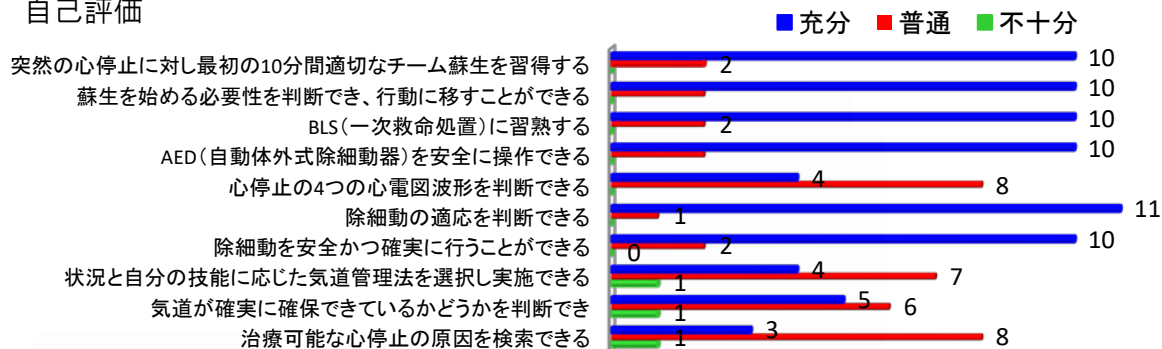
★ブースリーダー



# ◆アンケート◆ 受講生の声

## 1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価



## 2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどのように変わったと思いますか？

- ・ 自分の中でやる事が明確になったため、スムーズに動けるようになった
- ・ 全く分からなくて、動けないからよく分からないけど動くくらいに進化したと思う
- ・ ACLSの一連の流れを学んだので、DCの適応や薬剤投与のタイミングなど理解できました。救急や病棟の急変対応で活かしたいと思います
- ・ その場に行ったときに行動に少しは移せるかなと思います
- ・ 沢山数をこなすことが出来たので、次回同じような場面にであった時、立っただけでなく少しは動くことが出来ると思う
- ・ 積極的に動けるようになったと思う
- ・ 救急で学んだことを再確認できた
- ・ 一次救命に対してすごく苦手意識があったけれど、1日みっちり特訓できたので、次にハリーコールが鳴ったときは率先して駆けつけたいと思うようになった
- ・ 院内でハリーコールになった時に、少しは自分で考えて動けるようになったと思います
- ・ 心停止に対しての対応について、正しい知識を学ぶことができた
- ・ 実際にハリーコールが起きた際に、少し、向かうことの抵抗が少なくなった
- ・ 自分にできることが増えたと思いました。頭の中で復習して、いざというときに動けるように頑張ります

## 3)カリキュラムについて、お尋ねします



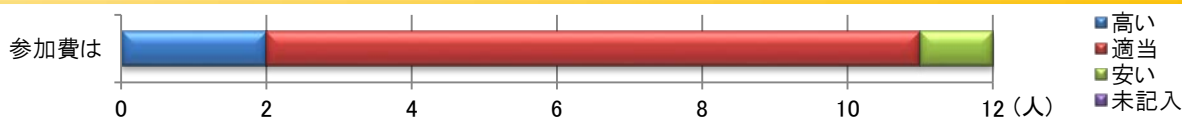
## 4)インストラクターに一言

- ・ ありがとうございました 3名
- ・ 長い間ありがとうございました。盛り上げてくださって最後まで頑張れました
- ・ 足りない所を補ってもらったり、聞きやすい雰囲気でした。ありがとうございました。
- ・ 丁寧に指導いただきありがとうございました！とても勉強になりました 3名
- ・ すごくすごく、ためになりました。ありがとうございました！
- ・ お忙しい中、お休みにも関わらず、指導していただきありがとうございました
- ・ 基本から応用なことまで指導いただきありがとうございました

## 5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- ・ とても良い環境で学ぶことができました
- ・ 全てよかったです

## 6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 人員を考えると安い、高くなると参加しにくくなってしまし難しい

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

- インストラクター希望 2名
- 永友 秀
  - 内海 李香



## ◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

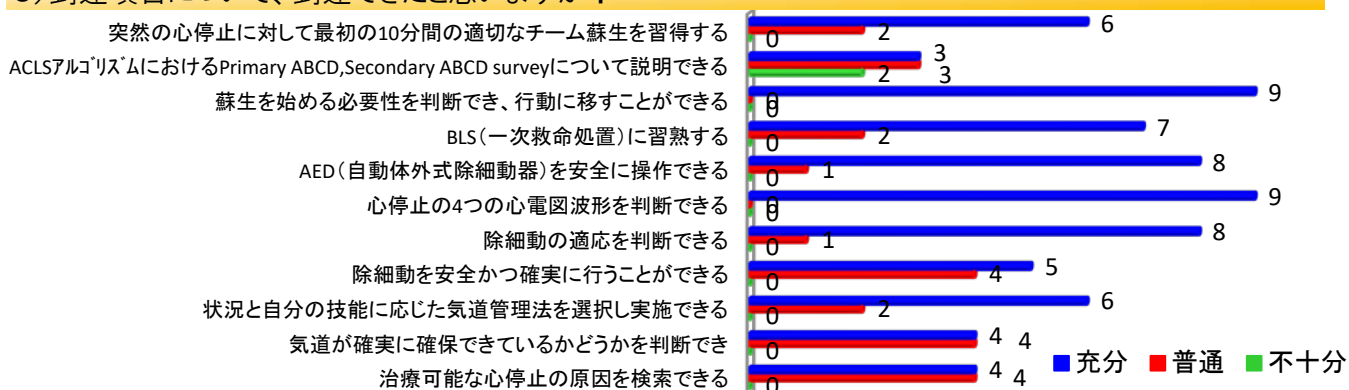
1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- グループによってカラーが違います。(特に意欲が)
- 明るく意欲的だったと思います。
- ほとんどの参加者は、非常に意欲的でした。
- 少しずつ和んできて、最後は皆いい雰囲気でした。
- 皆さん積極的に取り組まれていたと思います。
- 最初は遠慮がちでしたが、だんだんとチーム内で声掛けあえる様になりました。
- とてもよかった。
- 少し消極的？(おとなしい)グループと、元気なグループの差ありました。
- 皆さん真面目に積極的に参加していました。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 前半Gは勉強していると思います。後半Gは少し物足りなかったけど行動力が良かったです。
- 事前学習という点は、若干、不足していたと思います。
- 一部、予習してなさそうな受講者もいましたが、概ね予習している人が多かったです。
- 足りてない部分はあったかもしれないが問題ない。
- 人それぞれでしたが概ね問題なかったと思います。
- それほど予習してきている感じはなかった。
- 個人差はあるが、前回よりは良かった。
- 人により差がありました。期待以上の人もいました。
- 緊張していたのか、自信なく答えている受講者もいましたが、知識はあるように思いました。

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- フィードバックを即座にできないところがあったので、そこを気を付けたいと思う。
  - 午前シミュレーションにおいて、検査の値等をもっと学習して望む必要があると感じました。
  - 初インストラクターであり、少々難しかった。また、同期などへ教える難しさもあった。
  - 初めての参加で分からないことが多かったが楽しく参加することができた。
  - 周りに助けをいただき集中して臨場感をもって参加できました。
  - 初めての班長で、時間のコントロールが難しかったです。6個のシナリオの内、「3個目でこの時間」と目安を決めたらうまくいきました。
- ※他、「久しぶりに緊張しました。」「いつも通り。」という回答あり

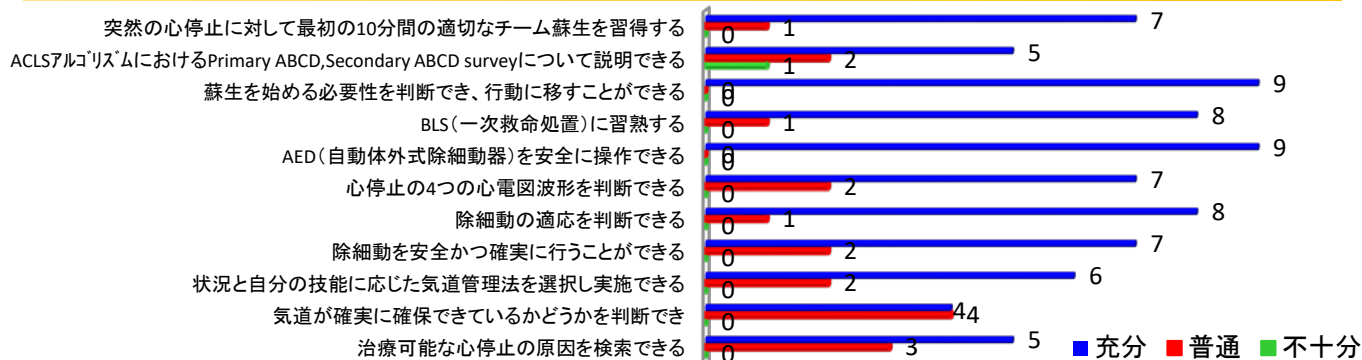
## 5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- ・一緒にコースすることができ、スムーズに行うことができた。
- ・大変チームワーク良く楽しくさせていただきました。
- ・非常に熱心でやりやすかった。 2名
- ・すごく助けてくれました。受講生にあわせてシナリオのアレンジなど、自ら提案してくれました。
- ・皆さん熱心に指導されていました。皆さんの指導から学ぶことができました。  
※他「皆さんとても丁寧だと思います」「多様な教え方があり参考になった」など

## 6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

- ・熱心です。・意欲にあふれていました。 など4名
- ・話しやすく楽しく充実したコースだった。  
※他「やる気があって良かった」「既にインストレベル」など

## 7)到達項目を十分教えることが出来ましたか？



## 8)講習会全体について

1. 講習時間について 適当 9名 少し長い(昼休みはもう少し短くできるかも)1名
2. 指導内容(量)について 適当7名
3. その他意見
  - ・前回コロナ禍の中でのコースで、消毒や清拭の難しさを感じていたもので、今回参加できてよかったです。
  - ・受講生の技量によっては、体外ペーシングや、気道異物除去まで教えたい。

## 9)運営者について

### 1. 当日の運営はどうでしたか？

- ・PEA/ASYSが時間オーバーしてしまいました。タイムキープの意識を統一して持っておけばよかったと思います
- ・スムーズでした。適宜、変更点や他のチームの状況を伝達してくださったので、助かりました。
- ・ほぼスムーズでした、事務の方、高山先生、アシストありがとうございました！  
※他、「運営はとてもスムーズ。」「順調。」などの意見が3名

### 2. 当日までの準備はどうでしたか？

- ・必要な資料を事前に送ってくれたので、予習ができました。
- ・募集から出遅れて、伝達が後手に回ってすみませんでした。
- ・他地域で行っていたIGLSコースでは、メーリングリストなどを使ったり、院内スタッフだけであれば、事前ミーティングなどで、事前準備を行っていました。  
(指導の割り振りや指導方法について、受講者のレベルの共有(それぞれのレベルに合わせての指導目標や指導内容の変更が必要かと思います)を行っておりました。  
そのようなことをやってもよいのではとも思いました。  
※他「問題なかった」「良かった」など5名

## 10)今後のこの会についてひとこと

- ・新しいインスト、アシスタントの風も入り、持続していきたいです。
- ・参加させていただき、ありがとうございました。インストラクターの方も、受講者もみなさん熱心に取り組んでいたのが印象的でした。  
今後とも参加させていただければと思います。よろしくお願いします。
- ・感染対策をしながら続けていきたいと思います。 継続したい。 など2名
- ・今後も宜しくお願い致します。2名 ・また参加したい。 2名



# フォトギャラリー



長崎大学病院 長崎外来医療教育室

地域医療支援センター ・ シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379